

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3464 子どもの造形 [5]			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	クラス指定必修			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜2限				
教室	H106図画工作室				
代表教員	中村 仁美				
担当教員	中村 仁美				
テーマと到達目標	自然の恵みを感じる造形表現活動を通して、自らの感性や表現力を高めるとともに、幼児の造形表現への理解を深め、支援するための基礎的な能力を培う。				
概要	自然とあそぶ中で、幼児の表現の姿や発達、及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする活動の構成などについて、実践的に学ぶ。また、領域「表現」の、造形表現に主軸をおきながら、他の領域がどのように関わっているかを、総体的にとらえることを試みる。これらの学びは、2年次の「保育内容（表現）」につながるものである。 この授業では、事前に告知された授業準備を予習、授業の記録をポートフォリオにまとめながら活動を指導者の目で捉え直すことを復習として、授業外学習（各回180分）に位置付ける。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーションー子どもと造形表現ー				対面授業
第2回	桜あそび（屋外・屋内）				対面授業
第3回	染あそび（屋内）				対面授業
第4回	泥あそび（屋外）【学外】				対面授業
第5回	草あそび（屋外）				対面授業
第6回	木あそび（屋外）				対面授業
第7回	子どもの造形表現の発達特性				対面授業
第8回	ポートフォリオ共有による活動の振り返り				対面授業
第9回	色あそび（屋内）				対面授業
第10回	粘土あそび（屋内）				対面授業
第11回	土あそび・火あそび（屋外・屋内）				対面授業
第12回	紙あそび（屋内）				対面授業
第13回	水あそび（屋外）【学外】				対面授業
第14回	食あそび（屋内）				対面授業
第15回	全体のまとめー実践からわかる子どもにとっての造形表現の意義と方法ー				対面授業
成績評価の基準	・ 幼児の目線で活動に悦びや楽しさを見出し、幼児の造形表現活動を支援する立場で活動を見直すことができるかを、造形表現活動への取り組みおよび成果物(50%)、ポートフォリオ(50%)から評価します。 ・ 造形表現への丁寧な感想や考察をポートフォリオに記載することは、支援者としての資質向上につながるため、加点の対象となります。 ・ 授業準備不足、意欲減退や表現活動の支障につながるため、減点の対象となります。				
履修にあたっての留意事項	・ 実践が中心の授業であり、実体験をもとに考察することに意義があります。そのため、遅刻3回で欠席1回扱い、20分以上の遅刻については欠席とみなし、授業時数の合計4/5以上の出席で評価の対象とします。欠席の際は必ず理由を添えて、授業前にh.nakamura@wako.ac.jpまで連絡をして下さい。（ただし、証明可能なやむをえない遅刻や欠席については相談に乗ります。） ・ 参加者の活動の様子や天候などにより、内容や順番を変更することがあります。 ・ 子どもと同じように、あそびながら造形表現をします。汚れてもよい、動きやすい服装で参加して下さい。 ・ 写真・動画撮影（携帯電話のカメラ可）、ロイロノートでのポートフォリオ作成、およびそれらの送信と共有ができるように機器の準備をして下さい。 ・ 第一回の授業には、学内Wifiの接続設定を終えたPCかタブレットをご持参下さい。				
オンライン授業方式(同時双方向)	・ 指示された課題が提出期限までに提出されなかった場合、欠席として扱います。				

型・オンデマンド型)の詳細	
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	・各回共通に必要な持ち物は初回に、各課題ごとに必要な持ち物は授業内で事前にお知らせします。授業に必要な材料・用具等は、各自で事前に入手・準備し、必ず持参して下さい。		
教科書	必要に応じて、プリントやデータ、リンクなどを配布します。	教科書(ISBN)	
参考文献	文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館, 2018 厚生労働省「保育所保育指針解説」フレーベル館, 2018 内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館, 2018	参考文献(ISBN)	